CRÉDIT AGRICOLE
LIFE INSURANCE
クレディ・アグリコル生命

Press Release

2015 年 6 月 30 日

報道関係各位

クレディ・アグリコル生命保険株式会社

クレディ・アグリコル生命の変額個人年金保険（１４）「デュアルボックス（円）」を７月１日より新生銀行で販売開始

クレディ・アグリコル生命保険株式会社（代表取締役 兼 ＣＥＯ：ジャン - ポール・ベルトラン）は、株式会社新生銀行（代表取締役社長：工藤英之）を通じて 2015 年 7 月 1 日より変額個人年金保険（１４）「デュアルボックス（円）」を販売開始いたします。

変額個人年金保険（１４）「デュアルボックス（円）」はクレディ・アグリコル生命が開発した変額個人年金保険です。積立期間満了時の成果として基本保険金額の 100%の確保を目指す「安定運用部分」と、上乗せの成果を目指す「積極運用部分」を組み合わせた特別勘定で運用します。また、積立金額が目標額以上に到達した場合には、運用成果を自動的に確保します。

クレディ・アグリコル生命は、これからも提携金融機関との連携を密にし、多様化するお客さまのニーズに応える質の高いサービスの提供を目指していきます。

この商品のおもな特徴

特徴１　**年金原資額として「基本保険金額の 100%の確保とそれ以上の成果」を目指して運用します**

・積立期間（20 年）を満了した場合は、積立金額が年金原資額となります。
・積立期間満了時の成果として基本保険金額の 100%の確保を目指す「安定運用部分」と、上乗せの成果を目指す「積極運用部分」を組み合わせて運用します。
・積立期間満了後、年金原資を、確定年金または一括でお支払いします。

特徴２　**目標額に到達すると運用成果を確保します**

・積立金額が目標額以上に到達すると、運用成果を自動的に確保します（据置期間付年金に移行して据え置いた後、確定年金または一括でお支払いします）。
・目標額到達の判定は、「単位型タイプ特別勘定の運用開始日」の 1 年後から積立期間満了までの間、クレディ・アグリコル生命が営業日毎に行います。

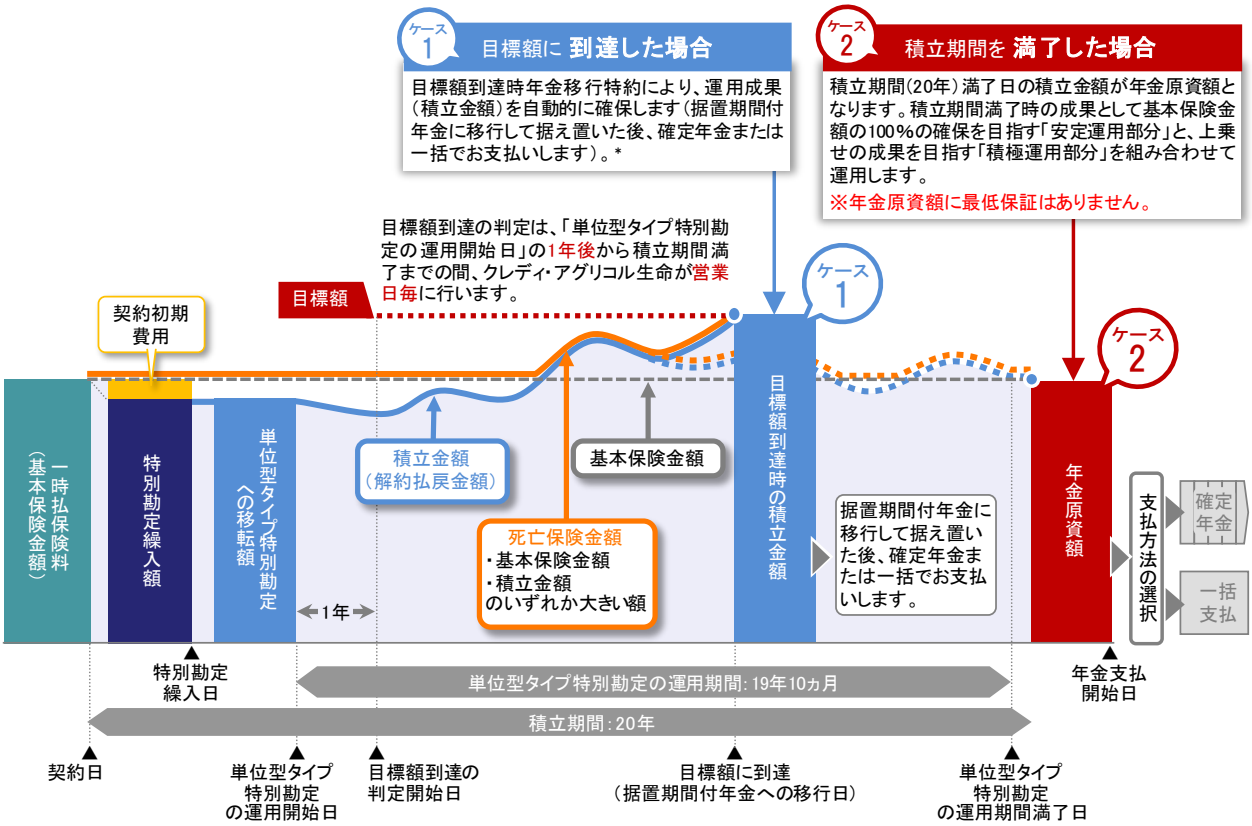
特徴３　**死亡保険金の最低保証があります**

・積立期間中に被保険者がお亡くなりになった場合、お亡くなりになった日の基本保険金額または積立金額のいずれか大きい額を死亡保険金としてお支払いします。死亡保険金額は、基本保険金額が最低保証されます。

＜本件に関するお問合わせ先＞
クレディ･アグリコル生命保険株式会社
広報担当　電話:03-4590-8426

変額個人年金保険（１４）の概要

■ イメージ図



※上図はイメージ図であり、一部解約等があった場合を想定していません。また、将来の解約払戻金額、年金額等を保証するものではありません。

＊据置期間付年金に移行後の年金支払開始日は、次のいずれか早い日となります。

・移行日から１年経過した日の直後に到来する「契約当初の年金支払開始日」の応当日　　・契約当初の年金支払開始日（契約日の 20 年後）

●年金原資額が基本保険金額を下回る場合について

単位型タイプ特別勘定のうち「基本保険金額の 100%の確保」を目指す部分（安定運用部分）について下記のような場合に、年金原資額が基本保険金額を大きく下回る可能性があります。

①安定運用部分の取引相手先等（三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券等）に債務不履行等の信用事由が生じた場合

②裏付債券（日本国債等）の発行体に債務不履行等の信用事由が生じた場合

■ 契約時のおもなお取り扱いについて

正式名称	変額個人年金保険（１４）
積立期間	20 年
契約年齢	20 歳～70 歳（契約日における被保険者の満年齢）
年金種類	確定年金
被保険者	契約者またはその配偶者もしくは２親等内の血族
年金受取人	契約者または被保険者
死亡保険金受取人	被保険者の配偶者または３親等内の親族
主契約の通貨	円
保険料の払込方法	一時払のみ
一時払保険料	100 万円以上、５億円*以下（1 万円単位）
基本保険金額の増額	お取り扱いしません
契約者貸付	お取り扱いしません

＊クレディ・アグリコル生命の定める個人年金保険のご契約については、同一被保険者あたりの基本保険金額（外国通貨建ての保険についてはクレディ・アグリコル生命所定の方法で円換算します）を通算して５億円がお取り扱いの限度となります。

注意事項

■ この保険のリスクについて

・この保険は、特別勘定の運用実績によって積立金額、解約払戻金額、死亡保険金額および将来の年金原資額が変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定における資産運用には、価格変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリーリスク等のリスクがあり、運用実績によっては解約払戻金額や年金原資額が一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあります。
・年金原資額および解約払戻金額に最低保証はありません。
・これらのリスクは契約者等に帰属しますのでご注意ください。

■ 諸費用について

・この保険にかかる費用は、「契約初期費用」「保険関係費用」「運用関係費用」「年金管理費用」の合計となります。

<table>
<tr><td>契　約　時</td><td>契約初期費用</td><td colspan="2">一時払保険料に対して7.5％</td></tr>
<tr><td rowspan="3">積立期間中</td><td rowspan="2">単位型タイプ
特別勘定
の運用期間中</td><td>保険関係費用</td><td>基本保険金額に対して最大年率0.61％*1
＊1　単位型タイプ特別勘定のうち積極運用部分の移転当初の比率は、日本国債20年金利等の上昇・低下等に基づき決定されます。積極運用部分の当初の比率の下限は基本保険金額に対して2%とし、移転時の市場環境により取引条件等が一定以上悪化してその比率を下回ることが見込まれる場合には、当初の比率が2%以上となるように保険関係費用を一定程度引き下げて適用することがあります。なお、単位型タイプ特別勘定への移転の際に適用された保険関係費用の年率は、変更されることはありません。</td></tr>
<tr><td>運用関係費用</td><td>運用関係費用として、債券の事務処理に要する費用、有価証券等の売買取引・保有に伴う費用等がかかります。これらの費用は、債券の運用状況等によって異なりますので、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用についてくわしくは、「特別勘定のしおり」をご覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">金融市場型
特別勘定
の運用期間中</td><td>保険関係費用</td><td>保険関係費用はかかりません。</td></tr>
<tr><td>運用関係費用</td><td>積立金額に対して最大年率0.61％*2
＊2　金融市場型特別勘定の運用期間中の運用関係費用は、年率0.61%を上限とし、金融市場型特別勘定の運用収益率が年率0.61%以下の場合は運用収益相当額とします。</td></tr>
<tr><td>年金支払
期　間　中</td><td>年金
管理費用</td><td colspan="2">支払年金額に対して1％*3
＊3　「年金管理費用」は年金支払開始日（遺族年金支払特約（08）による年金支払については年金基金設定日）に定まり、年金支払期間を通じて適用されます。なお、上記費用は、2015年4月末現在のものであり、将来変更されることがあります。</td></tr>
</table>

■ その他のご留意事項について

・この保険はクレディ・アグリコル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険であり、預金とは異なります。
・契約時において年金額は確定していません。将来お支払いする年金額は年金原資額に基づき、年金支払開始日の基礎率等（予定利率等）により計算します。

ご契約のご検討・お申し込みに際しては、必ず「契約締結前交付書面＜契約概要／注意喚起情報＞ 兼商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。

クレディ・アグリコル・グループについて

クレディ・アグリコル・グループは、世界 54 か国で金融サービス事業を展開し、総資産約 1 兆 7,628 億ユーロ（約 260 兆円）*を誇る世界有数の総合金融グループです。リテール銀行業務に強固な基盤を保持する一方で、生命保険事業に関しても、1986 年にフランス初のバンカシュアランス（銀行窓口における生命保険販売）専門の生命保険会社を設立し、以来約 30 年にわたりバンカシュアランスのパイオニアとしての地位を確立しています。近年ではフランス国外においても積極的にバンカシュアランス事業を展開しており、着実にそのビジネスを発展させています。詳細は http://www.credit-agricole.com/ をご参照ください。（＊数値は 2014 年 12 月末現在　換算レート：1 ユーロ 148.04 円で円換算）